

感染症の流行・発生状況について
2025年第22週(5月26日～6月1日)診断分

● 警報・注意報(県全体)

警報	なし
注意報	なし

● 疾患別警報レベル・注意報レベル(各保健所)

警報レベル	注意報レベル
・流行性角結膜炎 (八重山保健所)	・水痘 (北部保健所) (中部保健所) ・インフルエンザ (八重山保健所)

● 2025年第22週全数報告について(南部保健所管内)※先週末までの訂正追加報告も含む

《二類感染症》 ・結核 2件	《五類感染症》 ・百日咳 7件
-------------------	--------------------

● 南部保健所からのお知らせ

「手洗い」、「咳エチケット」、「換気」等の感染予防策の実施にご協力よろしくお願いします。

①麻しん
本県から令和7年5月28日付けで麻しん(はしか)患者の石垣島来島に伴う注意喚起のプレスリリースがありました。兵庫県より、麻しんの確定患者が感染可能期間に石垣島内で不特定の方と接触している可能性があることが公表されました。
麻しんウイルスは非常に感染力が強いため、患者と接触した可能性がある方への注意喚起として、広く情報提供するものです。
詳細につきましては以下のURLをご参照ください。
<https://www.pref.okinawa.lg.jp/press/1034048/1035014.html>
「麻しん(はしか)」が疑われる症状が出た場合、必ず事前に医療機関に連絡の上、速やかに受診してください。
麻しんは予防接種で防げる病気であり、予防接種は最も有効な予防方法です。
定期接種対象者(1歳児、小学校入学前1年間の幼児)は、予防接種が済んでいるか確認し、未接種の場合は早めに予防接種を受けましょう。

②百日咳
本県から令和7年2月7日付けで百日咳が増加傾向にあるとのプレスリリースがありました。詳細につきましては以下のリンクをご参照ください。
<https://www.pref.okinawa.lg.jp/press/1028521/1032871.html>
感染症発生動向調査による本県の医療機関から百日咳の届出が2025年第22週時点で累計649人と、全数把握となった2018年以降では過去最多であった2024年の85人を大きく上回っており、増加しております。
南部保健所管内においても百日咳の報告数は2025年第22週時点で累計187人となり、本県と同様に過去最多であった2024年の44人を大きく上回っており、増加しております。
百日咳は感染力が強く、乳幼児が感染すると重症化あるいは死にいたることもあります。感染対策には予防接種が非常に重要ですので、生後2か月になった乳児は速やかに五種(四種)混合ワクチンの接種を開始しましょう。乳幼児でまだ予防接種を受けていない場合は早めに接種をしてください。また、児童、生徒や成人では一般的に軽症となる傾向がありますが、ワクチン未接種の新生児・乳児に対する感染源となりうるため、咳が長引く場合は早めに医療機関を受診してください。

③水痘
水痘(水ぼうそう)は水痘帯状疱疹ウイルスによって起こる急性の伝染性疾患で、2週間程度の潜伏期間の後、発熱や倦怠感(成人のみ)を経て掻痒を伴う全身性の発疹といった症状が出現します。1歳以下や15歳以上で合併症の危険性が高くなり、とくに成人では重症化及び合併症の頻度も高くなります。予防方法は感染者との接触を控えることとワクチン接種です。
感染症発生動向調査による本県の医療機関からの水痘の報告数は2025年第22週で定点あたり0.72人(報告数18人)となり、先週に続き注意報発令基準値の1.00人を下回りました。
南部保健所管内においても水痘の報告数は2025年第22週で定点あたり0.83人(報告数5人)であり、注意報発令レベルを下回りました。

発熱、長引く咳など体調不良時には、かかりつけ医に相談、受診もしくは、受診医療機関に迷う場合は、「おきなわ#7119電話相談」(#7119 若しくは 098-866-7119)へご相談ください。

※定点医療機関とは、インフルエンザなどの感染症について、患者の発生情報を提供する医療機関のことです。定点1医療機関あたりの平均報告数で、感染症の流行状況を把握しています。

沖縄県全体報告数						南部保健所管内報告数					
疾病名	定点区分	19週	20週	21週	22週	22週	19週	20週	21週	22週	22週
		5/5	5/12	5/19	5/26	(定点あたり報告数)	5/5	5/12	5/19	5/26	(定点あたり報告数)
インフルエンザ	インフルエンザ	162	107	97	170	(3.78)	41	29	32	30	(2.50)
咽頭結膜熱	小児科	9	6	14	33	(1.32)	2	0	5	7	(1.17)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	小児科	19	38	37	23	(0.92)	3	10	7	3	(0.50)
感染性胃腸炎	小児科	99	127	99	110	(4.40)	41	67	48	59	(9.83)
水痘	小児科	20	18	21	18	(0.72)	7	5	7	5	(0.83)
手足口病	小児科	4	12	18	13	(0.52)	2	6	6	5	(0.83)
伝染性紅斑	小児科	9	14	12	10	(0.40)	2	7	4	4	(0.67)
突発性発疹	小児科	6	8	7	6	(0.24)	1	5	1	1	(0.17)
ヘルパンギーナ	小児科	8	21	32	12	(0.48)	0	17	24	5	(0.83)
流行性耳下腺炎	小児科	1	1	0	2	(0.08)	0	0	0	1	(0.17)
急性出血性結膜炎	眼科	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
流行性角結膜炎	眼科	37	40	33	23	(2.56)	9	6	7	7	(2.33)
細菌性髄膜炎	基幹	1	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
無菌性髄膜炎	基幹	0	1	1	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
マイコプラズマ肺炎	基幹	0	1	1	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
クラミジア肺炎	基幹	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
RSウイルス感染症	小児科	35	44	79	77	(3.08)	11	11	19	21	(3.50)
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	基幹	0	0	1	1	(0.14)	0	0	0	0	(0.00)
COVID-19	COVID-19	52	89	87	124	(2.76)	30	45	39	59	(4.92)

※クラミジア肺炎については、オウム病を除く。

警報

注意報